

II. 平成28年度活動計画(案)について<協議>

1. 方針

- ①修学旅行の**教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化**を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ②連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③関係機関・団体と連携・協議し、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

2. 活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行を目指す。

3. 活動の大綱

(1) 会議等の日程案

	会議名	予定内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月2日(木)	13:30 ～ 15:30	第1回は国立博物館平成館 第2回は奈良まほろば館、 第3回と役員代表者会、 第4回は東京文化会館を予定 ※会場の都合により変更の可能性あり
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月6日(木)		
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定	11月2日(水)		
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月14日(火)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月24日(金)		
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月2日(木)	11:00 ～ 12:30	第1回は国立博物館平成館 第2回は奈良まほろば館、 第3回と役員代表者会、 第4回は東京文化会館を予定
	第2回	データの分析・考察	10月6日(木)		
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月2日(水)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月24日(金)		
第52回研究発表会		実践研究発表等	11月18日(金)	13:30～ 16:30	千葉市・ポートプラザ千葉
全修協	第33回全国修学旅行研究大会 (修学旅行の理論・研究実践発表、シンポジウム)		7月28日(木)	13:30～ 17:00	東京・グランドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		29年 1月19日(木)頃	14:00～ 16:00	(未定)

<会議出席>

- ・ 役員代表者会(各県2名、定数11名)：役員、各県委員長(部長)、研究委員長
- ・ 総会・研究協議会(各県4名、定数20名)：役員、運営委員、研究委員
- ・ 研究委員会(各県2名、定数10名)：研究委員、運営委員1名
その他政令指定都市校長会(さいたま市、千葉市)から役員1名参加

< 県別分担事項一覧 > (平成 28 年度～32 年度)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
会長選出県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県
運営委員長	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県
〃 副委員長	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県
研究委員長 研究発表県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県

(2) 連合体計画輸送

1) 平成 28 年度計画輸送の

① 申し込み状況

平成 28 年度修学旅行専用列車の申し込み状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	40	5,597	90	12,621	19	1,542	209	35,884	107	17,763	465	73,407
B	77	9,547	14	1,169	10	314	40	4,384	24	2,341	165	17,755
C	0	0	2	164	0	0	51	9,109	56	9,273	109	18,546
D 広島	0	0	2	206	3	177	2	299	2	345	9	1,027
秋季 C	1	138	—	—	—	—	16	3,178	—	—	17	3,316
合計	118	15,282	108	14,160	32	2,033	318	52,854	189	29,722	765	114,051
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	4	760	4	760
東北・山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	2	291	2	291
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1,051	6	1,051
総合計	118	15,282	108	14,160	32	2,033	318	52,854	195	30,773	771	115,102

② 割付け日程

コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D	東北・山形	長野
5/9～7/9 62 日間 73,407 名 1 日平均 1,184 名 1 日最大 1,249 名 1 日最少 1,113 名	5/28～6/13 17 日間 17,755 名 1 日平均 1,045 名 1 日最大 1,159 名 1 日最少 979 名	春 5/9～6/30 53 日間 18,546 名 1 日平均 350 名	5/17～6/18 8 日間 1,027 名 1 日平均 129 名	5/18～6/1 4 日間 760 名 1 日平均 190 名	5/18、5/25 2 日間 291 名 1 日平均 146 名
		秋 9/7～9/27 14 日間 3,316 名 1 日平均 237 名			

2) 平成 28 年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）

- ・平成 28 年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）
- ・日時—平成 28 年 5 月 9 日（月）午前 7 時 25 分～7 時 35 分
- ・7 時 47 分東京発「のぞみ号」乗車校
 - ・習志野市立第七中学校
 - ・浦安市立高洲中学校
 - ・成田市立成田中学校
 - ・流山市立東深井中学校
 - ・流山市立西初石中学校
 - ・野田市立二川中学校
 - ・市原市立辰巳台中学校
- * 関修委を代表して千葉県千葉市立土気中学校の平野校長先生、同じく有吉中学校の桐原校長先生にご参加いただき、平野校長先生にご挨拶頂きました。

3) 計画輸送の利用校拡大

平成 28 年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委 P R 用リーフレットをもとに各学校への啓発に努める。

4) 平成 30 年度修学旅行の計画輸送策定

計画輸送（連合体）の理念、必要とされる理由を徹底し、各校が協力し合い、全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるように。

ほとんどの学校が 5 月中旬実施を希望→関修委の役割—平準化。

- ① A コース希望で、東京近郊の学校は、出来るだけ C コースへ。
C コースの帰り（東京着）の時間が、平成 26 年度から 30 分早くなっている。
- ② B コースをより魅力あるものにし、利用促進を積極的に図るため、30 分早い出発と 30 分遅い帰着が可能となるよう、JR に働きかけている。
- ③ 東京都、神奈川県中学校長会が走らせている専用列車と関修委の専用列車の相互利用の可能性を探り、JR へ働きかける。
- ④ 利用申込みの段階で、東京駅までの継走を明確にする。
- ⑤ 東北、上越、北陸方面の新幹線利用の拡大を図る。
- ⑥ 広島修学旅行列車の設定に伴い、引き続き P R に努める。
27 年度から設定パターンが改善（広島までの直行便）されている。
- ⑦ 申込書への記入—乗車駅・降車駅、継走の利用予定等、丁寧に記入を。
申し込み人数を正確に記入（現 1 年生の在籍数）

◎割付け・組み合わせから発表までの手順

6 月	● 2 日 総会・第 1 回研究協議会 ……	30 年度輸送計画の大綱決定
	● 上旬～下旬 ……	輸送申込書等配付(各県)
7 月	● 19 日 ……	30 年度輸送申込み締切
8 月	● 19 日 ……	申込み集計の事務局送付 <事務局にて割付原案の作成>
9 月		
10 月	● 6 日 第 2 回研究協議会 ……	30 年度輸送計画原案提案
	● 上旬～下旬 ……	割付原案による確認、調整(各県)
11 月	● 2 日 第 3 回研究協議会 ……	30 年度輸送計画の決定
	● 25 日 ……	30 年度輸送計画発表 (関修委ホームページから各学校の決定日を確認)
2 月	● 8 日 ……	各学校、J R 輸送申込書を旅行社経由で提出

5) その他

(3) 研究調査活動

1) 研究調査の継続と充実

- ・修学旅行の基本調査とテーマに沿った研究調査と発表。

2) 第52回修学旅行研究発表会の開催

- ・日時 平成28年11月18日(金) 13時00分～16時30分
- ・会場 ホテル・ポートプラザちば(JR京葉線「千葉みなと駅」前)
千葉県千葉市中央区千葉港8-5
- ・内容 関修委活動報告、実践研究発表他

3) 現地視察会(予定)

- ①伊勢志摩方面修学旅行現地研修会——日本文化の原点感じる歴史と文化、伊勢からはじまる歴史街道。伊勢志摩国立公園の豊かな自然と鳥羽志摩での、海での生活・産業、食文化体験プログラムなど、日本の原風景の中で教育旅行プログラムの提案と宿泊施設見学など
平成28年8月1日(月)～8月2日(火)
- ②東北方面修学旅行現地研修会——東北の歴史と文化、自然。震災学習や体験学習、世界遺産見学、宿泊施設見学など
平成28年8月7日(日)～8月9日(火)
- ③広島方面修学旅行現地研修会——平和教育と世界遺産見学、テーマ別体験学習、宿泊施設見学など
平成28年8月18日(木)～8月20日(土)

※ 各県からそれぞれのコースに2名以上の参加をお願いします。

4) 修学旅行資料「関西の旅」の利用推進

関東地区公立中学校修学旅行委員会の編集・監修による「関西の旅」の利用促進を図る。各学校の修学旅行のしおりと共に製本する方法も可能であり、併せてPRする。タクシーでの班行動プラン用もあり。

(4) 陳情・要請活動

1) 平成29年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

平成28年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価・円)

行事	学校種別	28年度決定額	29年度要望額	※27年度決定額	
修学旅行	中学校	57,590	60,000	57,290	
	小学校	21,490	25,000	21,190	
校外学習	中学校	宿泊あり	6,100	7,000	6,010
		宿泊なし	2,270	3,000	2,240
	小学校	宿泊あり	3,620	7,000	3,570
		宿泊なし	1,570	3,000	1,550

2) 計画輸送に関する改善要望

重点要望

- ①東京駅までの継走列車の乗り入れと継走特急列車の割引を要望していく。
- ②各駅の団体客の集合待機場所の確保を要望していく。
- ③Bコースの出発時間の繰上げ(30分程度)と東京帰着時間の繰下げ(30分程度)、それに伴う継走列車の運行を要望していく。
- ④Dコース(広島)の設定時間や乗車定員増、京都帰着時間の選択可能を要望していく。
- ⑤その他

3) その他

(5) 他団体との連携

公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携

- 1) 第33回全国修学旅行研究大会
平成28年7月28日(木) ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会の参加
○平成29年1月19日(木)頃 関東地区予定
- 3) 首都圏三地区校長会修学旅行委員会連絡会の参加
○平成28年7月7日(木) 全日本中学校校長会館 4F会議室

(6) その他

- 1) 情報・資料の提供・発信
- 2) 関修委・全修協のホームページの活用
- 3) 各県と事務局とのEメールの活用推進

4. 予 算

(1) 平成28年度支出予算案

(円)

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減(△)	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 ・研究委員会	650,000	650,000	0	会場費、交通費
	研究発表会	600,000	600,000	0	会場費、設営費、資料作成 費、反省会費
旅費交通費	事務局交通費	119,300	118,700	600	出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	50,000	50,000	0	会議案内、資料送付等郵 便・宅急便料金
印刷製本費	印刷費	300,000	300,000	0	輸送計画関係書類、調査研 究関係印刷物
助 成 費	各県活動運営費	780,700	781,300	△600	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,500,000	2,500,000	0	

(2) 各県修学旅行委員会(部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会(部)の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。なお、各県は助成金の支出報告を毎年度行うものとする。

ア. 県助成金算出基準

算出式 定額(全設置校対象)100,000円 + (連合体参加校数×300円)

※研究発表県には、50,000円を調査研究費としてプラスする。

※連合体参加校数は27年度第4回研究協議会開催日時点(29年度計画校)の校数。

(校、円)

県 名	定 額 (A)	連合体校数	利用校金額 (B)	研究発表県 調査研究費 (C)	助成金額合計 (A) + (B) + (C)
茨城県	100,000	117	35,100	—	135,100
栃木県	100,000	104	31,200	—	131,200
群馬県	100,000	28	8,400	—	108,400
埼玉県	100,000	315	94,500	—	194,500
千葉県	100,000	205	61,500	50,000	211,500
合 計	500,000	769	230,700	50,000	780,700